

ながさきピース文化祭 2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

全国邦楽合奏フェスティバルin長崎

全国邦楽合奏コンサート

出演順

●全国からの参加団体による演奏（10団体）

●合同曲（全国からの個人参加者による演奏）

「長崎十二景」（唯是震一 作曲）

胡弓：奥田雅楽之一 尺八：川村葵山

「ステラオブあかね.M.エンジェル」（前田智子 作曲）

指揮：前田智子

「響^{きようしやう}鐘^{しやう}— 長崎被爆80年によせて —」（藤原道山作曲 委嘱初演）

指揮：藤原道山 箏：石川憲弘（長崎出身） 尺八：川村葵山

特別演奏「尾上の松」（作曲者不詳 箏手付：宮城道雄）

三弦：藤本昭子 箏：奥田雅楽之一 尺八：藤原道山

特別演奏「百花譜」（沢井忠夫 作曲）

箏：井関一博（長崎出身） 十七弦：丸田美紀（長崎出身）

招待演奏「水の旅」（鹿野竜靖 作曲）

箏：鹿野竜靖

招待演奏「春の詩集」（牧野由多可 作曲）

箏：中・高・大生合同 ちーむNAGASAKI

●同時開催(ホワイエ) 10:20 ~ 16:00

・長崎松壽軒・片足鳥居 尺八ストーリーコーナー

・邦楽おもしろコーナー（宇宙箏/巨大邦楽年表/虚無僧に变身 他）

・箏・尺八体験コーナー 14:00 ~ 15:30

・3D尺八コーナー 13:00 ~ 16:00

10/6(月)10時~13時

特別企画「長崎邦楽ツアー」

ガイド：高橋崎山／田中隆文

演奏：松林静風・高橋崎山／神永大輔

松壽軒跡→黄檗宗興福寺→片足鳥居
→山王神社→浦上天主堂



田中隆文



神永大輔

ツアー申込
9月15日(締切)



企画：邦楽ジャーナル



奥田雅楽之一



川村葵山



藤本昭子



井関一博



丸田美紀



前田智子



藤原道山



石川憲弘



鹿野竜靖



中・高・大生合同 ちーむNAGASAKI

入場料1,000円(自由席)

チケット発売所：絃洋会楽器店 TEL095-821-2326（長崎県長崎市浜町7-13）

令和7年

10/5(日)開演11:00 (開場10:20 終演16:00予定)

ベネックス長崎ブリックホール

主催：文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会
長崎市、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎市実行委員会

特定非営利活動法人全国邦楽合奏協会

後援：公益財団法人日本伝統文化振興財団、有限会社邦楽ジャーナル 協力：長崎市三曲協会 協賛：長崎県三曲連盟

問合せ：全国邦楽合奏フェスティバル事務局 mail: fes7@zensokyo.org



特定非営利活動法人
全国邦楽合奏協会
<https://www.zensokyo.org/fes/index.html>



ながさきピース
文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭

令和7年 9月14日(日)→11月30日(日)



奥田雅楽之一

1979年東京生まれ。日本最大の箏曲団体・正派邦楽会の四代目後継者として、伝統邦楽の継承と発展に取り組んでいる。祖母・中島靖子、作曲家である祖父・唯是震一に師事し、幼少より芸能の基礎を学ぶ。1983年、国立劇場にて初舞台を踏み、1994年には家の伝承曲(黒塚)で歌舞伎の舞台に初出演。2002年より「雅楽之一」の名で本格的に演奏活動を開始。2019年、正派副家元に就任し、三代目正派家元である母・中島一子と共に会の運営や後進の指導に尽力している。また、家の伝統である新作創作にも力を注ぎ、歌舞伎座、国立能楽堂、NHKホールなど国内主要ホールで上演を重ねている。2019年よりリサイタル「奥田雅楽之一演奏会」を開催。



川村葵山

尺八を父、川村泰山に師事。NHK邦楽技能者育成会第51期卒。都山流大師範、講士、検定員。JSPN理事。東京学芸大学非常勤講師、大東文化大学琴和道会講師、和のリトミック和楽らんど講師。くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞、都山流全国本曲コンクール金賞受賞。和のオーケストラ「むつのを」、「The Shakuhachi 5」[J-TRAD Ensemble MAHOROBA]等に所属。国内外演奏活動の他、YouTubeに動画を投稿、東京、長野で教室を運営、国内外へオンラインレッスンも行っている。



藤本昭子

祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏・三弦を師事。1995年第1回リサイタル開催(全17回開催)。2001年伝統の継承と古典の新たな可能性を追求する場として「地歌ライブ」開始(全100回開催)。19年高橋翠秋、鶴澤津賀寿、善養寺恵介と「SATZ」結成。22年新たなシリーズ演奏会「伝承の力古典の現在」を開始、以降全11回開催。文化庁芸術祭音楽部門大賞、レコード部門2年連続大賞、松尾芸能賞優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞等受賞。21年紫綬褒章受章。現在、九州系地歌箏曲演奏家として演奏会・放送等に出演の他、後進の指導に当たっている。(公財)日本伝統文化振興財団理事。(公社)日本三曲協会、箏曲女流協会会員。正派音楽院講師。「藤本昭子の会」代表。



井関一博

長崎県佐世保市出身。沢井忠夫、沢井一恵、中井猛、菊雅楽孝子の各氏に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業。アメリカ、イタリア、ポルトガル、スペイン、スイス、フランス、フィンランド、韓国、タイ、マレーシア、インドなどでのフェスティバルや海外公演に多数参加し、オーケストラとも共演。2008年度～2010年度には宮城教育大学にて非常勤講師を務める。2004年には初のオリジナル作品集CD「Illusion」、2019年にはCD「咲く」・井関一博作品集をリリース。大日本家庭音楽会から作曲作品の楽譜を多数出版。現在、沢井箏曲院教授として後進の指導にあたる。沢井忠夫合奏団員。



丸田美紀

沢井忠夫、沢井一恵、菊雅楽孝子に師事。「Natural」に、表現としての箏の音を追求し、その柔軟な感性と適応力で、活動も古典から現代曲の初演、録音、即興と多岐にわたり、コラボレーションを展開、国内外でも高く評価されている。NHK邦楽オーディション合格。米田ウエスレアン大学で客員演奏家(’90～’92)。2009年NY カーネギーホールにてテリ・ライリー、クロノス・カルテットと共演。第六回日中韓首脳会談の晩餐会において演奏。ソロCD「鳥のように」をキングレコードよりリリース。第65回グラミー賞最優秀グローバル・ミュージック・アルバム賞受賞作品「SAKURA」に箏で参加。東京芸術大学邦楽科現代箏曲非常勤講師。



前田智子

宮城会全国箏曲作曲部門、国立劇場作曲コンクール、文化庁舞台芸術作曲コンクール、メルボルン音楽祭、「変絃自在・野坂操壽×沢井一恵」各コンクールに入賞入選。2001、2004年ケルン日本文化会館で曲を発表。ベルン歴史博物館で作品展、ニュールベルグ、ケルンにて日本大使館後援で作品を発表。愛知万博スイスオープニングで大統領の臨席を得て委嘱曲を披露。2011、18年国際尺八コンクールの課題曲を作曲。西本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要で「白道」が奉納され、難波別院親鸞聖人750回忌音楽法要の曲を担当。2018年モスクワに招待され作品展。賀順記念箏曲コンクール、全国尺八コンクール、全国邦楽合奏協会コンクールなど審査員を歴任。現在、日本作曲家協議会々員。邦楽2010に所属。



c) 平籠平

藤原道山

初代山本邦山(人間国宝)に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院音楽研究科修了。平成30年度文化庁芸術祭優秀賞、令和2年度(第71回)芸術選奨 文部科学大臣賞、第5回服部真二音楽賞他受賞。伝統音楽の演奏活動及び研究を行うと共に、「KOBUDO -古武道-」や尺八アンサンブル「風雅竹韻」等のユニット活動のほか、舞台音楽、音楽監修など多岐な活動を展開中。2025年はデビュー25周年を迎え、CDをリリース、コンサートツアーを企画。



石川憲弘

学生時代にロック、ジャズに夢中になる。箏でジャズを演奏したいと思い弾きはじめる。箏を生田流吉田興三郎、20絃箏を野坂操壽、17絃箏を宮本幸子、三絃を先代野坂操壽、指揮を稲田康に師事。文化庁芸術家国内研修生として作曲を牧野由多可に師事。NHK邦楽技能者育成会第26期首席修了。邦楽オーディション合格。洋楽・邦楽の域を超えて、数多くの国内外での公演やCD録音・プロデュースを行う。第20回宮城会箏曲コンクール作曲部門にて2位入賞(1位なし)。高校音楽教科書の日本音楽の項執筆(教育出版)。邦楽アンサンブル「昂」主宰。やまなし邦楽合奏団「響鳴」指揮者。NHK邦楽育成会同窓会演奏会「響」で音楽監督・指揮を務める。



鹿野竜晴

岐阜県出身。11歳より箏曲家、沢井一恵氏に師事。第30回賀順記念全国箏曲コンクール最高位賞順賞。第9回全国邦楽合奏協会コンクール金賞受賞。2024年度、文化庁より「文化庁邦楽普及大使」を拝命。NHK「にっぽんの芸能」、NHK FM「邦楽のひととき」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に出演。令和6年度岐阜県芸術文化奨励賞受賞。これまでに藝大ファルハーモニア管弦楽団、大垣市室内管弦楽団等オーケストラと共演。東京藝術大学邦楽科現代箏曲専攻卒業。在学中に「安宅賞」、卒業時に「アカンサス音楽賞」「同声会賞」を受賞。現在、同大学大学院在籍。



中・高・大生合同 ちーむNAGASAKI

長崎県立佐世保南高校邦楽部
長崎県立佐世保北高校邦楽部
鎮西学院高校箏曲同好会
長崎県立佐世保北中学校邦楽部
長崎県立大学シーボルト校邦楽部
指導：菊雅楽孝子

学年も学校も違う私達ですが、これまでに「ワンチーム」をモットーに練習に励んできました。皆さまの心に残る演奏ができますよう頑張ります応援よろしくお願いします。



田中隆文

1987年、(有)邦楽ジャーナルを創設して初の月刊邦楽情報誌「邦楽ジャーナル」創刊。99～2005年、初の邦楽専門ライブハウス「邦楽ジャーナル倶楽部・和音」開業。2001～10年、総合イベント「日本の音フェスティバル」企画制作(JASRAC主催)。04～07年、津軽三味線と太鼓の月刊情報誌「パチパチ」発行。06～10年、NYにて芸術見本市関連公演をプロデュース(国際交流基金主催)。06～18年、邦楽アンソロジーを創設して和楽器業界月刊紙「和楽器文化」発行。10年、「宇宙争」を小川楽器と製作、山崎直子宇宙飛行士がISSで演奏。12年5月に京都で、18年8月にロンドンで、21年11月に和歌山(国民文化祭)で、22年8月に蘇州(動画)で国際尺八コンクールを主催・制作。



神永大輔

2014年、ロックバンド「和楽器バンド」のメンバーとしてメジャーデビュー。2018年に5thアルバム「オトノエ」が第60回「輝く!日本レコード大賞 アルバム賞」を受賞し、2019年にはさいたまスーパーアリーナ2days公演を成功させた。その他、「華風月」「ファミマ」「GAME MUSIC CLASSIC」など、様々なグループで演奏活動を行っている。都山流尺八大師範(号は耀山)。全音楽譜出版社から2冊の尺八教則本を刊行。プラスチック尺八「玄」の開発を監修、及び販売を行う。(有)邦楽ジャーナル代表執行役。影ノ音 争・尺八教室(さいたま市大宮区)校長。カフェ&バル風とキャラバン(東京都多摩市)オーナー。公式ファンコミュニティ「風のおたより」。

特別企画「長崎邦楽ツアー」

ツアーガイド＝高橋崎山(通訳案内士)／田中隆文(邦楽ジャーナル)
演奏＝松林静風・高橋崎山／神永大輔

■日程：10月6日(月) 10時～13時(予定)

■参加料：無料(入場料・電車賃実費負担)

■黄梨宗興福寺：大人 300円 / 電車代：150円(市役所前～大学病院前)

■ツアー内容(基本徒歩移動)

(10:00)眼鏡橋集合

松壽軒跡見学～黄梨宗興福寺にて「鹿の遠音」献奏(松林静風、高橋崎山)～市電移動～二の鳥居(片足鳥居)見学～山王神社にて「片足鳥居の映像/佐藤敏直作曲」演奏(神永大輔)～浦上天堂にて「被爆80年に寄せて」をテーマとした演奏(神永大輔)～現地解散(13:00予定)

※行程に昼食は含まれません

■お申込み締切：9月15日(月・祝)定員になり次第締切ます

■お申込み方法：下記いずれかの方法でお申込みください ※電話申込不可

a. お申込フォーム(右記QRコードより)

b. Eメール：contact@buen-camino.jp (担当：古川)

c. FAX：042-420-1099(邦楽ジャーナル)

■お問い合わせ先：contact@buen-camino.jp

件名に「長崎邦楽ツアー」と記入の上お問い合わせください

■企画：邦楽ジャーナル

